

令和 7 年度 行事部事業報告用紙

国語

部

(1) 経過報告

	月 日	曜日	内 容	会 場
1	11月10日	月	磐周文集校正委員会	磐周教育研究所
2	11月21日	金	席書コンクール磐周審査会	磐周教育研究所
3	1月13日	火	書き初めコンクール磐周審査会	磐周教育研究所
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

(2) 反省及び磐周全体に関する課題と改善策

<書写> ・席書コンクール作品審査会 小中ともに各学年2人で審査を行った。各学年14点を「磐周特選」として選出し、県審査へ出品した。字形や筆遣い、接筆等に留意して審査を行った。 ・書き初めコンクール審査会 小中ともに各学年2人で審査を行った。各学年7点を「磐周特選」として選出し、県審査へ出品した。筆順・筆脈・接筆等に留意するとともに、字形等の許容について共通理解した上で、「書写」という観点で審査を行った。 ○課題と改善策 両審査会において、指導のポイントに関する確認を行い、字形や運筆・筆脈・配列・漢字と仮名の調和などについて、協議しながら審査を行った。同一校からの特選が多い学年があった。そのような場合には、再度確認したり助言者に相談したりする必要がある。 <文集> 磐周文集は、授業中に作成した作品も可するなど、形式を変えながら制作している。従来の文集の形式から、変わってしばらく経つものの、統一し切れていない部分への疑問点や、共通理解ができていない点などへ改善を求める声が上がっている。目的を今一度明確にし、国語部からの発信で、よりよい磐周文集を磐周全体で作りあげていけるように運営したい。また、令和8年度は編集委員会をより簡略化し、令和9年度には編集委員会を開催しない方向で議論を進めていく。
